



# 熊野川懇談会ニュース

第18回熊野川懇談会を開催



撮影日：令和4年1月15日

## Contents

- 第18回懇談会の概要
- 熊野川懇談会へのご意見受付方法・資料入手方法

No.19  
2022年2月発行

## 第 18 回熊野川懇談会が開催されました

第 18 回熊野川懇談会が開催され、明日の熊野川整備のあり方（追記版）の報告、前回の熊野川懇談会でのご質問に対する回答、新宮川水系河川整備基本方針の変更、河川整備計画の方向性、今後の予定について、意見交換が行われました。

第 18 回熊野川懇談会の主な内容は以下のとおりです。

### <第 18 回 熊野川懇談会の概要>

#### ◆ 開催日・場所

- 開催日：令和4年1月21日（金）
- 開催方法：WEB 会議  
（Youtube でのライブ配信を実施）
- 参加者：懇談会委員 12名 3名欠席  
河川管理者等 7名



■ 第 18 回熊野川懇談会の様子

#### ◆ 議事内容

前回の熊野川懇談会に引き続き、令和3年 12月15日に公表を行った「新宮川水系（熊野川）熊野川河川整備計画（原案）」について、意見交換を行った。

##### 1) スケジュールについて

次回懇談会において、「新宮川水系（熊野川）熊野川河川整備計画（原案）」に対する懇談会委員からの意見およびパブリックコメント・公聴会での関係住民意見を集約し、原案に対する対応方針を報告することが確認された。

##### 2) 新宮川水系（熊野川）河川整備計画（原案）について

新宮川水系（熊野川）河川整備計画（原案）について、懇談会委員から幅広くご意見を伺った。

##### 3) その他

第 18 回熊野川懇談会のニュースレターについては、閲覧用に設置のみとし、配布は行わないことが確認された。

#### 4) 「新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)」について

(委員からの主なご意見) ■委員からの意見

- 洪水に対して、新たにダムを造るとか、大堤防を造るのではなく、なるべく自然に合った河床掘削という方法として  
いるので、その方向で良い。流域全体を考えると、人の住む場所、山の管理もしていくということでは良いと思う。  
(井伊委員)
- 熊野川が交易、物流の経済の川として機能したということが非常に重要だと思うので、初めのところでもいから盛り  
込んでもらいたい。(山本委員)
- 危機管理が一番大事だと思う。命があってこそだと思うので、1秒でも早く、1メートルでも高くまずは逃げるとい  
うことを啓蒙運動していくと良い。(中島委員)
- 基本方針と整備計画の関連で、この先どうするのかということも書くことができないのかなと思う。基本方針は、相  
賀地点において24,000m<sup>3</sup>/sというふうに定められていて、河道への配分が23,000m<sup>3</sup>/s、洪水調節施設  
等による調節流量が1,000m<sup>3</sup>/sというふうに基本方針に定められている。整備計画では、河道に配分された23,  
000m<sup>3</sup>/sを計画として進めていこうという上で、そのうちの22,000m<sup>3</sup>/sは堤防整備、河道掘削等によって  
進めていく。あとの1,000m<sup>3</sup>/sは、中々30年間では対応できないということなら、この先どういうふうに考  
えていくかということがもし書けると、河川整備基本方針との関係がより明確になるかなというふうに考える。(立川  
委員)
- 河川整備基本方針と整備計画との関係、流量の関係、整備計画の目標流量が流れたときにどれぐらい水位が上がるの  
か、堤防がどうなるのか、住民の方にとってはそちらのほうが分かりやすいし、関心があると思う。そのあたりも含  
めて、より具体的に64ページに記述したほうが良い。  
直轄の管理区間だけではなくて、県管理区間も含めて整備計画後の熊野川の全体像をイメージできるような、記述に  
なっていないと思う。住民の方にとって、整備計画で整備が進んでいったら熊野川はこうなるというのが、直轄区  
間だけじゃなくて、県管理区間も含めてもう少しイメージできるような記述になると良い。(松尾委員)
- 人工林については、間伐が一番大事で、林内に十分な光を入れて下層植生を促進していく。健全な森林では、CO<sub>2</sub>の  
吸収の増大が期待できるし、山林崩壊の危険性の制限が期待できる。また、生物の多様性の保全にも貢献できるので、  
森林の施業管理についてはそういうようなところを入れてもらいたい。(泉委員)
- デジタルトランスフォーメーションという言葉が使われているが、今の河川管理の仕事をどうしたいということがま  
ずあって、そこを今の情報技術でこうする、場合によっては組織も変えるといった書き方をしないと、流行り言葉が  
ただ単に入っているというだけの印象になる。(横田委員)
- 土砂の生産から河口域もしくは海岸までの土砂動態と管理について、何をどういうふうに管理するのかということが  
もう少し分かりやすく図表を使って書かれていると良いと思う。  
総合的土砂管理で難しいのは、様々な責任者、セクターが関連しているというところで、本文の75、76ページに  
記述があるが、そこも図表の中に明記したほうが明確になると思う。具体的には河川管理者の県と国、海側の管理者  
の県と国が何についてどう連携するのかというのがより明確に書いてあるとより説得力がある。(森委員)
- 土砂管理といっても、なかなか難しい書きにくい部分がたくさんあると思うが、熊野川の土砂管理における理念や、  
上流から河口までの土砂管理の具体的なことを早急に検討していくとか、これからどういうふうに進めていくかとい  
うこと、流域の皆さんと一緒にこの熊野川のあるべき土砂管理の姿を考えていくとか、その辺でもいいのかなと思  
います。(藤田委員長)
- 最下流域で絶滅危惧種の生息環境の創出ということがうたわれているが、かなり困難が伴う。ぜひ各生物の専門家の  
人と意見を十分に交わして、慎重に進めてもらいたい。(高須委員)
- 掘削によって流量を確保するというので、海水の遡上によって魚類相が変化するというのを一番心配している。  
(瀧野委員)
- 砂州について、今後どういうふうにしていくのか。(清岡委員)
- 計画規模を超える洪水や整備途中に起こる洪水に対しては、流域治水として全体でなるべく対応を行うようにする  
ということだが、流域治水に国がどう関わっていくのかということも、もう少し明確に書けないか。(藤田委員長)

以上

## 【懇談会へのご意見受付方法】

ホームページ  
による受付

熊野川懇談会に関するご意見等は「熊野川懇談会」のホームページの「ご意見」のバナーをクリックしていただくと「熊野川懇談会へのご意見等」のページが開きますので、「意見を送る」をクリックしていただき、ご意見等をお寄せください

熊野川懇談会ホームページ

[https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano\\_kondan/index.html](https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano_kondan/index.html)



FAX・原稿送付  
による受付

FAX をご利用の場合、または原稿送付の場合は以下の連絡先にご連絡ください。

【連絡先】熊野川懇談会 庶務

三井共同建設コンサルタント株式会社

(担当：豊島・楠・升水・牧野)

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1-900号

大阪ペイタワーオフィス9階 FAX：06-6599-6050

## 【資料入手方法】

ホームページ  
による入手

懇談会資料は、熊野川懇談会ホームページよりダウンロードできます。

熊野川懇談会ホームページ

[https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano\\_kondan/index.html](https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano_kondan/index.html)



熊野川懇談会ニュース No.19

【編集・発行】熊野川懇談会 2022年2月発行

【連絡先】熊野川懇談会 庶務

三井共同建設コンサルタント(株) (担当：豊島・楠・升水・牧野)

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1-900号大阪ペイタワーオフィス9階

Tel:06-6599-6024 FAX06-6599-6050

熊野川懇談会ホームページアドレス [https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano\\_kondan/index.html](https://www.kkr.mitgo.jp/kinan/river/kumano_kondan/index.html)

※メールにつきましては、ホームページの「ご意見等」をご利用ください。